

泰らぎ

Vol.44
2017年
春号



作業療法にて制作



温故会



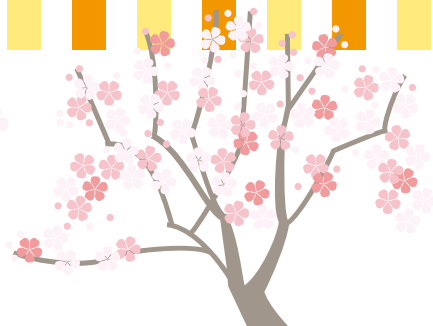
日本医療機能評価機構
認定第 JC1555 号

温故会
直方中村病院
福岡県認知症医療センター
<http://www.onkokai.jp/nakamura/>
編集・発行 直方中村病院広報委員会

- P1 表紙・目次
- P2 研修会のご紹介
 - ・包括的暴力防止プログラム(CVPPP)
 - ・職場環境配慮義務違反について
- P3 活動のご紹介
 - ・餅つき大会
 - ・節分祭
 - ・バレンタイン
- P4 第62回九州精神医療学会 表彰授与式

研修会のご紹介

包括的暴力防止プログラム (CVPPP)



平成 28 年度 包括的暴力防止プログラム (CVPPP) のトレーナー研修に参加しました。

今回福岡県立精神医療センター大宰府病院で 4 日間開催され、毎日通うことが出来る距離であった為、当院では初めて女性看護師 2 名が学んで来ました。

CVPPPのトレーナー研修とは、総論的な暴力・包括的な暴力への関わり方及び身体的介入方法についての講義、暴力からの離脱方法や技術的介入の実際をインストラクターより指導をして頂きました。

患者様に痛みを与えず、尊厳をたもったまま、窒息・安全に配慮し、治療的介入を行うという事を学びました。

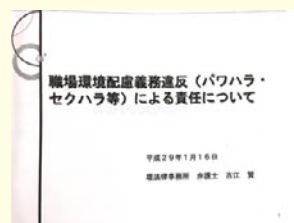
今後も研修で学んだことを活かせるように、当院でも取り組んでいきたいと思います。

職場環境配慮義務違反について

当院医師、役職者を対象とした

「職場環境配慮義務違反(パワハラ・セクハラ等)について」

の勉強会を、堤法律事務所 弁護士 古江賢先生を講師にお招きし開催いたしました。



勉強会では…

- 1) ハラスメントの定義(パワハラ、セクハラ、マタハラ、アルハラ)と具体例の紹介
- 2) 本人、使用者の民事、刑事、労働法上の責任
- 3) 法的手続き 等

について、医療従事者向けにわかりやすい解説を行っていただきました。



ハラスメントとは簡単に言うと”いやがらせ”や”いじめ”のことだそうです。ネットをみても、医師・上司から威圧的な態度を取られたり、また同僚からの暴言など他の医療機関においては現実問題として起きているようです。今回の勉強会に参加出来たことは職場環境や部下との関係性について自身が見つめなおす良い機会となりました。

今後、この勉強会で学んだことを活かし、自身の行動にも反映させていきたいと思います。

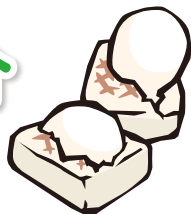
古江賢先生、貴重な講義ありがとうございました。



▲ 職員も講義に集中しています！

活動のご紹介

餅つき大会



1・2病棟合同で餅つき大会を開催しました。直方中村病院では十数年振りの餅つき大会、餅つき経験者のスタッフも少なく、準備等大変な事も多くありましたが、何とか当日を迎える事が出来ました。

餅をつく人には初体験の患者さんもおられました、スタッフと一緒に掛け声を掛けて一生懸命つきました。途中地域のお子さんも参加され、和気あいあいとした雰囲気、餅つき大会は大成功でした。今回ついたお餅はぜんざい祭で美味しく頂きました。

節分祭を行いました。

次は鬼の格好をした患者様二名の登場!!
黄鬼と青鬼さん息ぴったりなピース写真を頂きました。



開式の言葉から始まり、今年是一年女の方が二名いらしたので、前に出てきて頂き一言ずつお言葉を頂きました。



早速部屋対抗による玉投げゲームが始まりました♪
ルールは 各チーム一名リーダーを決め2分間で紙ボールを鬼の口やツノに投げていき、二分後リーダーがカラーボール5球を投げていきます。
カラーボールが口に入ると50点、ツノに入るとなんと100点!!
白ボール一つ1点となります。
1位～3位には豪華賞品を用意しました。
ゲームが進んでいくにつれ、男性チームの患者様よりも女性チームの患者様の方がどんどん得点が上がっていき、結果女性チームの患者様2グループが1位と2位を獲得しました!!
皆さんとても楽しんでおられて無事節分祭を終えました。

運動の後は、参加された患者様全員で甘納豆とプリンアラモードを美味しく食べられました。



バレンタイン

メニューは2月と言えば・・・バレンタインということもあり、『生チョコ』と『皿うどん』です。斬新な組み合わせですね。まずは二手にわかれて下準備を行いました。



▲ チョコは固まりやあくあるために、カップケーキを砕いて混ぜました。



▲ 皿うどんは野菜を切って、フライパン二つで炒めまわす。皆さん手際よく集中していました。



▲ チョコを丸めるとこんな感じ。



▲ そして皿うどんはこんな感じに出来上がりました。



みんなで、試食会。美味しくゼーンと頂きました。



第62回九州精神医療学会 表彰授与式

毎年当院は九州精神医療学会で発表をしています。今年度は平成28年12月1・2日に、第62回九州精神医療学会が沖縄であり、直方中村病院から3題発表しました。その中で「精神的アプローチからの褥瘡改善の歩み」というテーマを発表する機会がありました。その後、福岡県精神保健福祉協会から表彰授与の連絡があり平成29年3月8日に春日市にて、平成28年度「精神医療の向上に関する研究」の授与式に参加しました。



ら出る機会も乏しく気分の低下や日常生活も満足して送れる状況ではありませんでした。そのような状況に、褥瘡委員としての意地もあり携わっていた職種同士で、どのような援助を提供できるかと日々考えさせてもらえる機会があり、多職種統一した治療計画を作成しました。それを基に病棟スタッフ一丸となって取り組む事によって、患者様との信頼関係や表情、入院生活での意欲的な変化などがみられ良い結果に繋がる事ができました。



表彰の知らせは電話にて受け、まさか自分のテーマが表彰されるなんて…と、ただただ授与式まで驚いていました。当日になり、協会長より表彰状を授与されて今回の学会で発表された116演題ある中の8題が表彰され、その中の1つに選ばれた事を初めて実感することができました。

今回の発表に至ったきっかけとしては、ほぼ寝たきりで複数の褥瘡が発症している患者様が、当院の急性期治療病棟に入院された事が始まりでした。褥瘡があるため病室か



今回このような表彰までの経験をする中で色々な事を感じる機会にもなりました。それは患者様にアプローチしていく中で、「心と身体は一つである」という事を改めて実感し、患者様の気持ちをまず一番に考え看護・介護を行う事の重要性をより痛感しました。このような思いを常に忘れずに、今後も様々な患者様への関わりの中で活かしていかなければならないと強く思っています。

急性期治療病棟 看護師 橋本 和子